

今戸焼 干支人形

だい こくねずみ 大黒子



昔むかし、大国主命（おおくにぬしのみこと）は
荒野で野火に囲まれた際、現れた野ねずみの助言で
難を乗り越え、須世理姫（すせりひめ）と結婚しま
した。そして、農耕や漁業、殖産や医薬の知恵を
人々に授けて豊かな国を築きました。

時は流れ、仏教守護の戦闘神であり、寺院衆僧の
飲食保護と保証をつかさどる施福神の大黒天
（だいこくてん）が海を越え招来し、大国主命と
習合され民間信仰に浸透していきます。

大黒天は袋を負った姿で台所に祀られるよう
になり、白いねずみは大黒天の使い「大黒鼠（だい
こくねずみ）」と呼ばれるようになりました。

このたび新作として、宝珠を印した大黒天の
小槌（こづち）を持つ干支人形、大黒子（だいこく
ねずみ）を作りました。

皆様のご健康とご多幸をこころよりお祈り
申し上げます。

今戸焼 白井

六代 白井 裕一郎